

平成27年10月6日
第一管区海上保安本部
交 通 部

海が騒ぐと心も騒ぐ？

発達した低気圧に伴う強風が吹き荒れた10月初旬の道内。

荒波にもまれながら行き交う船の安全を願い、航海を支援する交通部ですが、私たちが設置した「航海の道しるべ」である灯台自身にも、猛り狂う波は容赦なく襲い掛かります。

今年の1月には、荒天により「塩谷港外防波堤西灯台」がぽっきりと折れてしまい、わが子のように見守ってきた職員も心を痛めました。

今回の荒天でも、多くの被害が心配されていたところ、灯台の様子を確認に行った職員がどっきり！



そこには、一瞬のうちに先端まで波に覆われた「留萌港西防波堤南灯台」の姿が・・・



祈るような気持ちで見守る中、何度と無く「これはヤバイぞ！」と思う波が押し寄せましたが、そこには、荒波を蹴飛ばし、雲間の光を浴びて煌めく白い灯塔が。

「ボクは大丈夫だよ！」と輝くわが子(?)の姿に、騒いだ胸を撫で下ろし、また、夕刻にはグリーンの灯火が正常に点灯するのを見て、安堵のため息を漏らすのでした。

多くの灯塔は大変過酷な環境に建てられており、特に冬が厳しい北海道においては、波浪だけではなく氷結にも見舞われます。

灯塔を管理する海上保安部職員にとっては、身も心も引き締まる季節がやってきます。

灯塔に異常を見かけた方は、最寄の海上保安部又は「118番」へご連絡をお願いいたします。

第一管区海上保安本部交通部 (0134) 27-0118